

■発行■
2005年10月

ファルマバレーセンター
E-Mail mail@fuji-pvc.jp
URL www.fuji-pvc.jp

「富士山麓から世界へ ～ファルマバレーは、いま!～」



〒411-8777 静岡県駿東郡長泉町下長窪1007 TEL055-980-6333 FAX055-980-6320

伊豆の観光産業に光 かかりつけ湯で心の幸せ寿命を延ばす旅



■息を呑むほど美しい新緑の天城路



■肩・腰・膝痛のセルフケアプログラムを体験
(ラフォーレ修善寺)



■低カロリーでおいしい食事を提供(青山やまと)



■心ゆくまで源泉かけ流しの湯を堪能(ごぜんの湯)

かかりつけ
湯

伊豆の温泉旅行の
楽しみを無限に広げ
る「かかりつけ湯」。
こだわりのおもてなし
と良質な温泉をゆ
っくり、じっくり堪能し
たい。

健康増進と癒しのための伊豆の温泉宿のネットワーク「かかりつけ湯」が始動した。首都圏に近く、多彩な地域資源をもつ伊豆の特性を余すところなく楽しんでもらえるのがかかりつけ湯のコンセプト。「良質な温泉」と「おもてなしの心」で、平日、リーズナブルな料金で健康、癒しの時間を提供している。

私たち現代人は、日常生活の中で、大小さまざまなストレスにさらされ、医者に行くほどではないが、慢性的な疲労や身体の不調を感じている、いわゆる「半健康人」が非常に多くなっている。進展する高齢化への漠然とした不安感から、「健康であること」「健康を維持すること」への社会的な関心が高まっている。

高齢化社会の到来は、一方で、主役となる熟年世代が求める観光の質も変えつつある。従来の画一的なサービスではなく、こだわりのおもてなしや良質の温泉をじっくり、ゆっくり味わいたい、というニーズが強く、全国の観光地は旧来の観光体質の転換に追われているのが現状だ。

伊豆は、豊かに湧き出る温泉は言うに及ばず、複雑な地形が織りなす海岸線、半島の背骨を形作る天城連山、

さまざまに表情を変える狩野川の流れなど、さながら万華鏡のように変化に富んだ自然を有する。そこから生まれる山海の幸も伊豆の大きな魅力だ。また、日本の歴史の表舞台に幾度となく登場し、名所・名利にも事欠かない。

こういった伊豆半島ならではの魅力を、時代のニーズである「健康」、「ウエルネス」という新しい視点でくり直し、付加価値を生み出すことで伊豆観光の活性化を図るのが、「かかりつけ湯」の取り組みだ。静岡県が進める「ファルマバレー構想」のウエルネス戦略に位置づけられている。

伊豆のかかりつけ湯は現代人に心と身体の癒しを提供する、いわば「行きつけの温泉宿」。ターゲットは主に首都圏の団塊世代の人たち。平日、連泊してもらえるリピーターを増やす取り組みだ。

かかりつけ湯とは？

■ お湯へのこだわりとおもてなしを重視

ファルマバレー構想の中核的支援機関であるファルマバレーセンターは、かかりつけ湯の理念に賛同する温泉宿を伊豆全域から募集、有識者による選考委員会を経て39のモデル施設を選んだ。

かかりつけ湯の理念は2つ。第1に、お湯に対する情報開示の徹底だ。

全国各地で心ない一部の温泉旅館が泉質を偽り、入浴剤入りの温泉を提供していた事件は記憶に新しい。今や温泉には、メーカーが自社製品の質を保証するように、泉質から衛生上の管理法に至るまできびしい品質管理と情報開示が求められている。したがって、かかりつけ湯では源泉かけ流しなのか循環式なのか、また加温、加水の状況などの情報をすべてホームページ上で公開し、一人ひとりのお客さまが納得、安心して良質なお湯を選択してもらえるよう「温泉のインフォームド・チョイス」を実現している。



■湯のない温泉で体の芯から温まる
(河津七滝オートキャンプ場)

2番目が「おもてなしの心」の提供。ひとくちにおもてなしと言っても、感じ方は人それぞれ。かゆいところに手が届くようなおもてなしから、何もおかまいしないというおもてなしまで、それぞれの施設が自分たちにできる範囲で、「おもてなし」を徹底的に追求している。

■ モデル施設4つの特徴

また、モデル施設は次の4つの特徴のうち1つ以上で健康と癒しを提供する。

● 「温泉を活用した健康プログラム」

温浴を通じた健康増進に真正面から取り組んでいること。温水ストレッチや正しい温泉の入浴方法など、専門家による温泉を活用した健康増進のためのプログラムがある。

● 「健康に配慮した食事」

糖尿病などの持病や、食品アレルギーに対応した食事、あるいは、塩分、カロリーを表示するなど、健康に配慮した食事を提供すること。旅の楽しみの一つに、その土地の食材を堪能することがある。かかりつけ湯は、おいしいのは当然のこと、メニューのあり方についても、お客さまの健康にしっかりと配慮していく。

● 「さまざまな癒しの提供」

観光地として連綿と地域に受け継がれ、育まれてきた文化や歴史、こういった観光資源を結ぶウォーキングコースや、さまざまな自然体験メニュー、運動施設など、楽しみながら、癒しと健康増進につながる体験メニューの開発、充実を図ること。

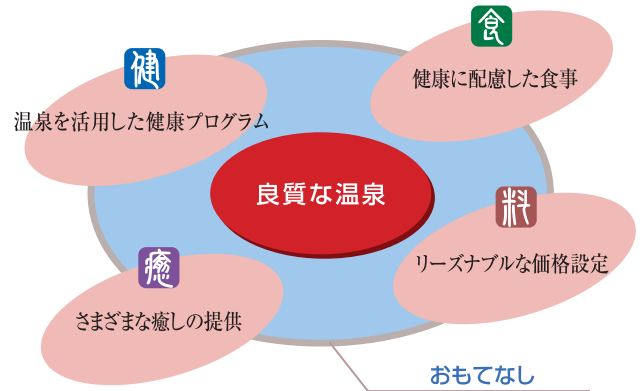
● 「リーズナブルな価格設定」

かかりつけ湯では平日や連泊利用の方のために、通常より割安な料金設定を行うことにも積極的に取り組む。

また、年間を通じて一定の割安な料金を設定している宿もあり、長期の滞在や療養に便利な宿を用意した。

■ キーワードは「伊豆はひとつ」

7月13日には三島市内でモデル施設協議会設立記者発表が行われ、温泉を利用したユニークな取り組みとしてテレビ、新聞、雑誌にも多く取り上げられている。



■かかりつけ湯モデル施設は良質な温泉を基本とし、おもてなしとして『食』『料』『健』『癒』のうち少なくとも一つ以上の特徴で、お客さまに癒しと健康増進を提供している。

8月に開催された第1回モデル施設協議会幹事会には各地域の代表が集まり、広報PRの状況や今後の活動方針などが話し合われた。代表幹事で船原館の鈴木基文社長は「各モデル施設が明確な目標を持ち、今ある特徴にさらに磨きをかけることがかかりつけ湯の質の向上につながる」と語る。

ますます多様化する観光ニーズにより的確に、きめ細かく応えていくためには、ひとつの温泉場、一軒の温泉宿だけでは立ち行かない。今まさに、「伊豆はひとつ」というキーワードが大変重要となってきた。今日は海、明日は山といった伊豆の特性が存分に生かせる「かかりつけ湯」。39の宿それぞれが特徴を際立たせ、それらが連携することで、何度来ても癒される観光リゾート・伊豆が成立する。首都圏から一番近い「癒しの空間」づくりに向けた、志ある温泉宿泊施設のネットワーク化と、今後さらに志を同じくする仲間を増やして伊豆全域に浸透させていくこと—それが「かかりつけ湯」のコンセプトであり、「伊豆ブランド創生」に向けた新たな伊豆の挑戦なのだ。



■東郷青児の絵がお出迎え(サンバレー富士見)

こんな宿がお待ちしています

39通りのおもてなし を楽しむ



■富士山を一望するお風呂が自慢(大仁ホテル)

良質な温泉の提供がかかりつけ湯の使命。泉質はもちろん、浴槽の衛生管理についても徹底的な情報開示を行っている。例えば、ホテル観音温泉。泉質は超軟水pH9.5の強アルカリ単純泉。肌がつるつる、しっとりする美人の湯だ。駒の湯源泉荘では、浴槽はもちろん、洗い場も消毒。かけ流し浴槽も換水時に消毒する念の入れようだ。サンバレー富士見のように飲泉を持つ宿も多い。

積極的に健康増進を図りたい人には、専門家による健康プログラムのある宿がお勧め。ラフォーレ修善寺では腰痛、膝痛、四十肩・五十肩などの痛みを緩和するセルフケアプログラムの指導が受けられる。船原館やサザンクロスリ

かかりつけ湯モデル施設

施設名称	電話番号
民営国民宿舎 熱海ビレッジ	0557-81-8295
月の栖 熱海聚楽ホテル	0557-81-5181
熱海温泉ホテル湯治館 そよ風	0557-81-1331
旅館 芳泉閣	0557-81-7624
熱海シーサイドスパ&リゾート	0557-82-8111
大成館	0557-68-2221
青山やまと	0557-32-0300
伊東マダリンホテル	0557-36-0011
旅館いな葉	0557-37-3178
サザンクロスリゾート&スパ	0557-45-1234
玉翠館	0557-23-2170
ゲストハウスつくし館	0557-23-0222
懐かしの自然湯 熱川温泉-柳閣	0557-23-1133

ゾート&スパでは、ワッツ(水中指圧)を行っている。暖かいお湯に身をゆだね、インストラクターの動きに合わせて心と体のコリをほぐす。深いリラックス効果も得られる。

かかりつけ湯では、健康に配慮した食事の提供にも力を入れる。最近では、糖尿病や高血圧が気になる中高年や食品アレルギーを持つ人も増えている。山芳園は最高16品目の食品アレルギーを持つお客さまの受け入れをしたという。熱海芳泉閣は、夕食・朝食とも、高脂・高コレステロール血症予防献立(総摂取801^{キログラム})を提供。湯治館そよ風のように、管理栄養士が常駐する宿もある。



■地元食材を使った養生食を提供(つくし館)

さまざまな癒し体験ができるのもかかりつけ湯の特徴。井上靖をはじめ多くの作家の定宿となった白壁荘は、作家ゆかりの品々が楽しめる。女将手作りの散策マップも必見だ。青山やまとは全館バリアフリー対応で、車椅子のお

客さまにも露天風呂付きの客室を用意。ごぜんの湯やつくし館のように自家農園で農作業が体験できる宿もある。

また、こうした魅力こそじっくりと楽しんでもらいたい。そこで、かかりつけ湯は「割安な料金設定」にも力を入れた。平日割引や連泊割引がある宿、あるいは1泊朝食付き5,500円から(熱海シーサイドスパ&リゾート)や、築60年の古民家を低料金で1週間まるまる貸し切れる宿(彩里)など、気軽に泊まれる料金設定だ。

あなたも、自分のかかりつけ湯を見つける旅に出てみませんか?



■かかりつけ湯のロゴマークが入ったモデル施設選定証

ファルマバレーセンターは「かかりつけ湯」を商標登録。モデル施設の入り口には品質保証の証として商標が入った選定証が掲げられている。

また、ホームページでは、温泉、料金、健康に配慮した食事、温泉を利用した健康プログラム、癒しの提供などについて細かな情報を紹介している。

(<http://www.kakaritsukeyu.jp>)

施設名称	電話番号
ホテルカタラ福島屋	0557-23-2222
稲取 銀水荘	0557-95-2211
菊水館	0558-32-1018
鉾石ミネラル嵐の湯 湯治の館 河津七滝オートキャンプ場	0558-36-8080
クアハウス石橋旅館	0558-22-2222
飲泉・源泉かけ流しの宿 ホテル観音温泉	0558-28-1234
伊古奈	0558-62-0030
源泉旅館 山芳園	0558-42-2561
湯治場21 大見山荘	0558-83-3034
神代の湯	0558-83-5388
貸切古民家 彩里(いろり)	0558-83-5550
ごぜんの湯	0558-83-0281

施設名称	電話番号
白壁荘	0558-85-0100
落合楼村上	0558-85-0014
嵯峨沢館	0558-85-0115
船原館	0558-87-0711
ホテルラフォーレ修善寺	0558-72-1664
YUTORIAN 修善寺ホテル	0558-72-2033
宙SORA 渡月荘金龍	0558-72-0601
大仁ホテル	0558-76-1111
招福の宿 蛭びすや	055-948-1541
ホテルサンバレー富士見	055-947-3100
ささや竹翠亭	055-948-1445
おおとり荘	055-948-1095
角萬旅館	055-978-3371
駒の湯 源泉荘	055-949-0309

かかりつけ湯が発信する新たな魅力

「静岡県温泉マイスター養成講座」



■熱心に講座を聞く受講者

温泉を生かした健康づくり、まちづくりのリーダーを育成する「温泉マイスター養成講座」は、静岡県健康福祉センターが主催する人気の講座。2日間の講習で、各分野の専門家から温泉の衛生管理法や温泉の効用をはじめ、地域の歴史・文化、基礎的な健康づくりの方法などを学ぶ。修了者には県知事名入りの修了証が交付される。

昨年10月、今年6月に伊豆の国市で行われた入門講座には182人が参加。受講者の多くが旅館関係者で、温泉知識を生かして観光誘客に結

び付けるのがねらい。今回は温泉知識の他に、「もてなしの心」についても学んだ。主催の東部健康福祉センターは「個人の健康づくりや温泉施設での入浴指導だけでなく、修了者同士や行政機関が連携して、住民が健康に暮らせるまちづくりを目指してほしい」と語る。

かかりつけ湯モデル施設の多くも温泉マイスターの資格取得者。宿泊客一人ひとりに合った入浴法などのアドバイスに役立っている。

【お問い合わせ】
静岡県東部健康福祉センター
tel.055-920-2112

「温泉と医療で街の活性化を図るNPOエイミック」



■熱海流養生法の
実践練習風景
(熱海ビレッジ)



特定非営利活動法人(NPO)エイミックは、温泉と医療で街の活性化を図ろうと平成13年に熱海市内で法人化された。当初は医師が中心だったが、現在は特異な異業種集団としてユニークなアイデアを市に提言、観光客の①温泉相談を受ける

- ②人間ドックつき宿泊プラン
- ③熱海「湯まつり」への参画
- ④お散歩カロリーマップの作成など幅広く活動している。

今年度は県や市からの補助金を活用し、熱海養生法

と名づけた東洋医学と温泉療法をミックスしたプログラムを開発。また、静岡県温泉マイスターの修了者を対象に、講座を通じてより実践的な知識を身につけてもらおうと、「温シェルジュ」養成講座を開催した。内田實エイミック代表は「温シェルジュのコンセプトはかかりつけ湯とマッチしており、モデル施設にも定着する事を願っている」と期待する。

(NPOエイミック
<http://www.atami-amic.com/>)

「井上靖文学散歩道」



■ガイドブック「洪作少年の歩いた道」(左)と、昔ながらの風情が残る天城温泉の湯道



伊豆には川端康成、梶井基次郎など著名な作家が多く逗留し、たくさん作品を残しているが、井上靖のように人生のある時期を伊豆で暮らした作家はそれほど多くない。代表作「しろばんば」「夏草冬濤」には井上の“分身”である洪作少年が小中学校時代を過ごした天城湯ヶ島や沼津、三島の様子が当時の人々の暮らしとともに生き生きと描かれている。

16年度、東部県行政セン

ター(現・東部地域支援局)は2作品に登場する場面を詳しい写真と解説入りで紹介するガイドブック「洪作少年の歩いた道」を作成した。ガイドブックは作品に登場する湯ヶ島、三島・沼津など6つのエリアで構成され、エリアごとの詳しい解説と各エリア間のアクセスが示され、訪れる人の興味や持ち時間によってオリジナルの文学散歩が楽しめる。

【お問い合わせ】
静岡県東部地域支援局 tel.055-920-2149
ファルマバレーセンター tel.055-980-6333

●かかりつけ湯の詳しいお問い合わせは

ファルマバレーセンター 〒411-8777 駿東郡長泉町下長窪1007 tel.055-980-6333 fax.055-980-6320 e-mail mail@fuji-pvc.jp